

第11回 ARTE国際マンドリンフェスティバル&コンクール

10
7・8

ARTE International Mandolin Festival & Competition 2017



有希・マヌエラ・ヤンケ ©Shigeto Imura



藤掛 廣幸

Caterina Lichtenberg



Ricardo Sandoval



Katsia Prakopchyk &
Jan Skryhan

2017年 **10月7日(土)**

- 10:40 開場
- 11:00 開会式
- 11:15 コンクール B部門ファイナル(マンドロンチェロ)
- 15:00 コンクール A部門セミファイナル(マンドリン)
- 18:30 コンサートI「ARTESSIMO!
- 19:30 一日目審査結果発表
- 20:00 コンサートII「究極のプレクトラムアート」
- 21:00 終演

2017年 **10月8日(日)**

- 13:15 開場
- 13:30 コンクール A部門ファイナル(マンドリン)
- 16:00 コンサートIII「アジア3国のマンドリンオーケストラ」
- 18:30 二日目審査結果発表
- 19:00 コンサートIV「ストラディヴァリウスとマンドリンの饗宴」
- 20:15 表彰式
- 20:30 終演

会場: **いずみホール**

●コンクール開催部門

A部門: マンドリン独奏部門
B部門: マンドロンチェロ独奏部門

●審査員

石村 隆行(日本 マンドリン演奏家・名古屋音楽大学客員教授)
桑井 謙三(日本 マンドリン演奏家)
小林 由直(日本 作曲家)
白土 文雄(日本 コントラバス演奏家・元チューリッヒ・トーンハル管弦楽団首席)

藤掛 廣幸(日本 作曲家・シンセサイザー演奏家)
Caterina Lichtenberg(ドイツ マンドリン演奏家)
Katsia Prakopchyk(ベラルーシ マンドリン演奏家)
Ricardo Sandoval(ペネズエラ マンドリン演奏家・作曲家)

主催: 特定非営利活動法人ARTE MANDOLINISTICA 公式WEBサイト <https://www.arte-mandolin.com/>

協力: 日本音楽財団(日本財団助成事業)

助成: 一般社団法人私的録音補償金管理協会、公益財団法人朝日新聞文化財団(コンサートIV「ストラディヴァリウスとマンドリンの饗宴」)

後援: 文化庁、大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、一般社団法人日本マンドリン連盟

第11回 ARTE国際マンドリンフェスティバル&コンクール

PROGRAM

10月7日(土)

10:40 開場

11:00 開会式・コンクールA部門セミファイナル抽選

11:15 コンクール **B部門ファイナル** (マンドロンチェロ部門) 開演

下記課題曲及び自由曲からなる15分以上20分以内のステージ
課題曲 Waves for Mandoloncello / 小林由直 (委嘱作品)

①11:15 ②11:35 ③11:55

休憩(約20分)

④12:35 ⑤12:55

13:15 コンクールB部門ファイナル 終演

閉場

14:45 開場

15:00 コンクール **A部門セミファイナル** (マンドリン部門) 開演

下記課題曲及び自由曲からなる15分以上20分以内のステージ
課題曲 即興詩 (Improvised Poem) Vogt & Fritz (VF5015) / 桑原康雄

①15:00 ②15:20 ③15:40

休憩 (約20分)

④16:20 ⑤16:40 ⑥17:00

17:20 コンクールA部門セミファイナル 終演

閉場

18:15 開場

18:30 コンサートI 「**ARTESSIMO!**」

ARTE MANDOLINISTICA & ARTE TOKYO 指揮: 井上泰信

第5回全日本マンドリン合奏コンクール・課題曲: March "JOY FLIGHTS" / 遠藤秀安作曲・委嘱作品
風のプレリュード / 末廣健児、深海 / 丸本大悟、Moving Force / 末廣健児、
流星群 / 末廣健児、Planetarium / 丸本大悟

A部門第1位副賞
「ロレンツォ・リッピ氏製作のマンドリン」



賞金及び副賞

A部門(マンドリン独奏部門)

第1位: 20万円及

副賞「ロレンツォ・リッピ氏
製作のマンドリン」

入賞者記念ガラコンサート

第2位: 15万円及び副賞

第3位: 10万円及び副賞

B部門(マンドロンチェロ独奏部門)

第1位: 5万円及び副賞

第2位: 3万円及び副賞

第3位: 2万円及び副賞

19:30 両部門 **審査結果発表・A部門ファイナル抽選**

20:00 コンサートII 「**究極のプレクトラムアート**」

カーチャ・プラコプチュク&ヤン・スクリーハン Katsia Prakopchyk & Jan Skryhan (ベラルーシ)

歌劇「果敢なき人生」より「スペイン舞曲」/ファリヤ、オブリヴィオン/ピアソラ、
リベルタンゴ/ピアソラ、ヴェニス島の謝肉祭/ムニエル - タレガ

リカルド・サンドヴァル&井上泰信 Ricardo Sandoval (ベネズエラ)

SATOMI / リカルド・サンドヴァル

カテリーナ・リヒテンベルク Caterina Lichtenberg (ドイツ)

無伴奏チェロ組曲第1番より「プレリュード - アルマンド - クーラント」/バッハ、
前奏曲第5番 / カラーチェ、猫のネズミ捕り "The Cat got the Mouse" / マイク・マーシャル

カテリーナ・リヒテンベルク&リカルド・サンドヴァル

サンタモレナ "Santa Morena" / ジャコー・ド・バンドリン、
解き放たれた悪魔 "El Diablo Suelto" / エラクリオ・フェルナンデス

スペシャルアンサンブル

影の中で "Entre las Sombras" / リカルド・サンドヴァル

21:00 コンサートII 終演予定

プログラム・および時間には、変更の可能性があります。悪しからずご了承ください。

13:00 ロビー開場

13:15 開場

13:30 コンクール A部門ファイナル (マンドリン部門) 開演

自由曲からなる20分以上30分以内のステージ

①13:30 ②14:00

休憩(約20分)

③14:50 ④15:20

15:50 コンクールA部門ファイナル 終演

16:00 コンサートIII 「アジア3国のマンドリンオーケストラ」

Taiwan Mandolin Ensemble (台湾) 指揮:曾煒昕

マンドリン協奏曲ハ長調(マンドリン独奏:陳子涵)/ヴィヴァルディ、
烏石港に吹く午後のそよ風/曾煒昕、脈拍129/林恩加、河岸の風景/郭宗翰、
台南府城の風情/郭宗翰、の世界初演となる四曲

Seoul Mandolin Chamber (韓国) 指揮:趙泰洙

夏の庭/シルヴェストリ、メリアの平原にて/マネンテ、子守歌/ブラームス、
交響的前奏曲/ポッタキアリ

Taiwan Chi-Mei Mandolin Orchestra (台湾) 指揮:董怡君

アルハンブラの思い出/タレガ、クシコス・ポスト/ネッケ、何日君再来/劉雪庵、
遙かな友に/磯部俣、マンドリン協奏曲ト長調より第一楽章/ヴィヴァルディ、
茉莉花変奏曲/中国民謡、望春風/台湾民謡

Estudiantina Philodolino di Kyoto (日本) 指揮:石村隆行

マンドリン芸術/マネンテ

18:30 A部門 審査結果発表

19:00 コンサートIV 「ストラディヴァリウスとマンドリンの饗宴」

指揮:藤掛廣幸

ヴァイオリン独奏:有希・マヌエラ・ヤンケ

(使用楽器:日本音楽財団所有 ストラディヴァリウス 1736年製ヴァイオリン「ムンツ」)

演奏:ARTE MANDOLINISTICA & ARTE TOKYO & 関西在住の中学生・高校生

トレピックプレリュード Tre-Pick Prelude/藤掛廣幸 (委嘱作品)

ヴァイオリンとマンドリンオーケストラの為の「Pastoral Fantasy」/藤掛廣幸
(世界初演・日本音楽財団による委嘱作品)

有希・マヌエラ・ヤンケ氏によるヴァイオリン独奏 「夏の名残のぼら」による変奏曲/エルンスト

ヴァイオリンとマンドリンオーケストラの為の「Star Concerto」/藤掛廣幸
(世界初演・日本音楽財団による委嘱作品)

20:00 コンサートIV 終演

20:15 両部門表彰式・講評

20:30 全プログラム 終演予定

プログラム・および時間には、変更の可能性があります。悪しからずご了承ください。

この事業は私的録音補償金管理協会の助成を受けて行われています。著作権法の規定では、政令で定められたデジタル方式の機器・媒体により私的使用のために録音する場合は、補償金の支払いが義務付けられており、その補償金はMDなどの価格に、あらかじめ上乗せされています。支払われた補償金は権利者に分配されるほか、一部は共通目的基金として著作権制度に関する思想普及や著作物の創作の振興及び普及に資する事業を助成するために使われています。

ENTRY

コンクールA部門(マンドリン部門)

The 11th ARTE International Mandolin Competition Category A (Mandolin)

セミファイナル及びファイナルの自由曲



Olivia ARTNER (1994-) AUSTRIA, Lieboch (Piano : Yumi FUJII)

SEMI-FINAL R. Calace : Preludio

A. Andrade : Cadencia

FINAL

O. Kalberer : Prelude e Danza

A. Kaufmann : Burletta, Mitoka Dragomirna

H. Konieczny : KAWAGUCHI-ANA



Airi FUJIKAWA (1997-) JAPAN, Osaka (Piano : Yumi FUJII)

藤川 亜依里

SEMI-FINAL D. Shostakovich : Violin Concerto No.1 Cadenza- IV Burlesca

FINAL

E. Marucelli : Capriccio Zingaresco

G.B. Garvasio : Sonata D-dur | -Mov

T.A. Vitali : Chaconne



Taku HIRAKAWA (1995-) JAPAN, Kobe (Piano : Takumi INOKUCHI)

平川 拓

SEMI-FINAL R. Calace : Polonaise

FINAL

R. Calace : Concerto per Mandolini e Piano No.1 op.113



Irina KOLOSVA (1982-) RUSSIA, Moscow (Piano : Anna YAKOVLEVA)

SEMI-FINAL C. Abel : Fantasia and Allegro d-moll

FINAL

D. Scarlatti : Sonata K88 d-moll

C. Domeniconi : Preludia 4 "Loco nox"

R. Calace : Concerto per Mandolin e piano op.113 1-mov "Marziale"



Svetlana MUSAFINA (1974-) RUSSIA, Ekaterinburg (Piano : Anna YAKOVLEVA)

SEMI-FINAL D. Scarlatti : Presto A-dur

P.I. Tchaikovsky : "Russian dance" from the ballet "Swan Lake"

FINAL

E. Podgaitis : Mandolin Concerto

V. Kioulaphides : Diferencias

C. Munier : Capriccio Espaniol



Atsushi TANAKA (1984-) JAPAN, Shizuoka (Piano : Emi KANDA)

田中 淳

SEMI-FINAL C. Munier : Valzer Concerto

FINAL

R. Calace : Polonaise

Y. Kobayashi : Cantabile

G. Pettine : Mandolin Concerto G-dur | -Mov

Carlos Requintero 及び Laura Ramirez は都合により出場辞退となりました。

ENTRY

コンクールB部門(マンドロンチェロ部門)

The 11th ARTE International Mandolin Competition Category B (Mandolncello)

ファイナルの自由曲



Atsuko KITAJIMA (1970-) JAPAN,Fukuoka

(Piano : Akihiro HIRATA)

北島 温子

FINAL

A.Borodin : Sonata h-moll I -mov



Hidenori KIYOSE (1992-) JAPAN,Osaka

(Piano : Tomoko HATAOKA)

清瀬 英範

FINAL

F.Mendesssohn : Song without Words, Op. 109

B.Bartok : Romanian Folk Dance



Hiroyuki KOMATSU (1997-) JAPAN,Kyoto

小松 寛之

FINAL

J.Sibelius : Theme and Variations



Shiro YAMAMOTO (1982-) JAPAN.Yamaguchi

山本 史郎

FINAL

J.S.Bach : Suite No.1 per Violoncello solo, Prelude

G.Casado : Suite per Violoncello solo III



Shogo ISHIKUBO (1994-) JAPAN,Sapporo

石窪 翔吾

FINAL



J.S.Bach : Cello Suite no.3 BWV1009 Prelude,Sarabande,Gigue

愛知淑徳中学校・高等学校
ギター・マンドリンクラブ
第51回定期演奏会

2018年3月22日(木)
開場 17:30 開演 18:00
名古屋市青少年文化センター アートピアホール
(地下鉄東山線・名城線「栄」下車 両へ徒歩7分)

入場無料 ☆ 曲目未定

○ お問い合わせ
愛知淑徳中学校・高等学校
052-781-1151



静岡県西遠女子学園ギターマンドリン部
Shizuoka Seien Girl's High School

第8回定期演奏会

2018年3月21日(水)
開場: 10:00 開演: 10:30 (予定)
静岡県西遠女子学園 講堂

皆様のご来場お待ちしております。



Takayuki Ishimura

石村 隆行 (日本 マンドリン演奏家・名古屋音楽大学客員教授)

中学・高校・大学を通じて、マンドリンクラブにおいて指揮者として活躍。この間、中野二郎、川口雅行の両氏に師事。1984年、日本マンドリン連盟主催第9回独奏コンクールにおいて第1位を獲得して記念リサイタルを開く。1986年、イタリアのCesare Pollini音楽院に留学。Ugo Orlandi氏の指導を受けるとともに、マンドリン史料研究にも研鑽を積む。1993年、Alessio市主催の国際器楽コンクールで第1位を獲得、同年音楽院を首席で卒業しディプロマを得て帰国。1994年、東京と大阪でデビューリサイタルを開き、同年12月Estudiantina Philodolino di Kyotoを組織。また、リュート・モデルノ奏者としては、2004年コントラバス奏者の平田昭浩とデュオ「Basso Cantabile」を結成、2005年京都コンサートホールにてデュオリサイタルを開催。同年川口雅行、高橋和彦、宮武省吾の各氏とマンドリン四重奏団「グラン・パルティータ」を結成、2006年に福岡、高松、京都、東京でコンサートを開催。2008年7月には韓国、全州で開催された第7回韓国マンドリンフェスティバルに招待されコンサートを行う。現在、演奏、指揮のほか編曲、研究等幅広い活動を行い、マンドリンオーケストラのための曲集「アルバム・フィロドリーノ (vol.1~12)」の出版や、自らの演奏により上梓したCD「シルヴィオ・ラニエリ作品集」、無伴奏マンドリン曲集「サラバンドとフーガ」、マンドリン合奏作曲家による独奏曲集「セレナータ」などによってその成果の一端を示すところである。また、全国高校ギター・マンドリンフェスティバルの講評、並びに同志社大学マンドリンクラブ及び甲南大学文化会マンドリンギタークラブ技術顧問を務めるなど、指導・教育にも力を注いでいる。2008年より名古屋音楽大学マンドリン科客員教授に就任。

He studied mandolin under Jiro Nakano and Masayuki Kawaguchi. He had been a conductor of mandolin clubs of his junior high school, high school, and university. He got the 1st prize in the 9th Mandolin Contours in Japan and held the memorial recital. He entered the Cesare Pollini Music Academy in 1986 and studied mandolin under Ugo Orlandi, and also research the history of mandolin. In 1993 he got the 1st prize in the international concours of instrumental music held in by Alessio city. In the same year he graduated the academy with the top score. In 1994 he held his debut concerts in Osaka and Tokyo, and organized the Estudiantina Philodolino di Kyoto. As a player of the lute modern, he organized the duo 'Basso Cantabile' with the contrabass player Akihiro Hirata and held the duo recital at the Kyoto concert hall in 2005. In the same year he organized the 'Gran Partita Mandolin Quartet' with Masayuki Kawaguchi, Kazuhiko Takahashi and Shogo Miyatake, and held its concert in Fukuoka, Takamatsu, Kyoto and Tokyo in 2006. In 2007 he was invited to the 7th Korean Mandolin Festival and held the concert. Currently his activities include solo mandolinist, conductor, arrangement and research on mandolin. He published the 'Album Philodolino vol.1-12' for mandolin orchestra, and CDs 'Silvio Ranieri pieces', 'Sarabande and fuga', 'Serenata Italiana' by his own performance. He is a technical advisor of the mandolin clubs of Doshisha University and Konan University. He has been an affiliate professor in mandolin class of the Nagoya music university since 2008.



Kenzo Kumei

桑井 謙三 (日本 マンドリン演奏家)

12才よりマンドリンを始め独学にて修得。1978年、全日本マンドリン独奏コンクール第1位。1980年、NHK洋楽オーディション合格。1984年、日本演奏家連盟推薦演奏会に出演。テレビ・ラジオ等にも多数出演し、独奏以外にも、カンツォーネ、日本歌曲等の伴奏者として活躍している。表現力豊かでダイナミックな演奏は、これまでのマンドリンという楽器のイメージを覆すもので、まさに日本を代表する数少ないプロフェッショナル・マンドリニストの一人である。また、後進の指導にも力を注いでいる。2010年~13年にはヘンデルの「メサイア」全曲を指揮し好評を博す。今後の指揮者としての活動にも期待大である。神戸音楽家協会会員。

Began his mandolin career at 12 years old. Placed 1st in 1978's All-Japan Mandolin Solo Competition and passed the NHK Western Music Audition in 1980. In 1984 performed in Japan Federation of Musicians' Nominated Concert. In addition to his activity as a soloist, Kenzo also active as an accompanist for canzone and Japanese songs, with multiple appearances in TV and radio. With his expressive and dynamic performance, Kenzo breathes new air into the genre of mandolin music, making him one of the most important professional mandolinists representing Japan. He is also focused on development of next generation mandolinists. From 2010 to 2013 he completely conducted Handel's "Messiah" and gained acclamation for his direction. We can surely expect his activity as a conductor in the future. Member of Kobe Musician Association.



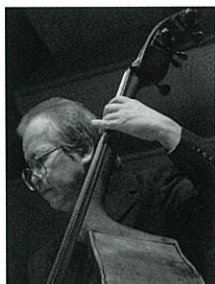
Yoshinao Kobayashi

小林 由直 (日本 作曲家)

1961年生まれ。4歳よりピアノを始め、後にピアノを針谷宏弥、作曲を田中照通に師事。1984年日本マンドリン連盟(JMU)主催第4回作曲コンクール入賞。以後、マンドリンに軸足を置いた作品を多く発表し、合奏作品は全国の大学や社会人団体で演奏されている。2006年、バンベルク(ドイツ)にて開催されたEurofestival Zupfmusikのオープニングコンサートにて「マンドリン協奏曲第2番」が初演された。独奏および室内楽作品は、国内はもとよりヨーロッパやロシアなどでも数多く演奏され、日本マンドリン独奏コンクール、ARTE国際マンドリンフェスティバル&コンクール、ヨーロッパ国際マンドリンコンクール、ルクセンブルク国際マンドリンコンクール等の課題曲としても選定されている。フルート、ピアノ、弦楽など、ギター・マンドリン以外の楽器と一緒に演奏する室内楽作品も多く発表している。多くの作品がJoachim-Trekel-Musikverlag(ドイツ・ハンブルク)より出版されている。現在は日本作曲家協議会(JFC)に所属し、マンドリン合奏曲・室内楽曲に加え、チェロやクラリネットのための作品や室内管弦楽のための作品など、新たな分野の現代作品にも挑戦している。2017年6月には初の個展である「小林由直作品演奏会

～点と線の軌跡～」を京都にて開催。全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール、日本マンドリン独奏コンクール、ARTE国際マンドリンフェスティバル&コンクールなど、多くのコンクールで審査員を務める。雑誌「奏でる!マンドリン」に「気まぐれマンドリン随想」を連載中。医学博士。

Yoshinao KOBAYASHI, born in Japan in 1961, began to play the piano when he was four, and later he learned piano with Prof. Koya Harigai and music composition with Prof. Terumichi Tanaka. In 1984, he received a prize in the 4th composing competition of the Japan Mandolin Union (JMU). He has written many orchestral and chamber works for mandolin instruments. His works are played around the world. In 2006, "Mandolin Concerto No.2" was premiered at the opening concert of Eurofestival Zupfmusik Bamberg in Germany. His mandolin solo pieces were compulsory pieces for multiple international competitions; e.g., JMU mandolin solo competition, ARTE International Mandolin Festival & Competition, European Mandolin Award of the EMGA 2007, the 1st International solo mandolin competition Luxembourg 2012 etc. He has been composed mandolin pieces intensively with other kinds of instruments such as flute, piano and violin strings. Many his pieces are published by Joachim-Trekel-Musikverlag (Hamburg, Germany). Currently, he belongs to The Japan Federation of Composers Inc. (JFC) to try to compose contemporary music for violoncello, clarinet and chamber orchestra in addition to guitar/mandolin pieces. In June 2017, his first individual exhibition of composed works entitled "Trace of point and line music" was held in Kyoto. He was a jury in many competitions; e.g., all Japan high school guitar mandolin music competition, Japan mandolin solo competition, ARTE International Mandolin Festival & Competition etc. He is PhD in Medicine and is regularly occupied as a doctor of internal medicine, but music has always played an important role throughout his life.



Fumio Shirato

白土 文雄 (日本 コントラバス演奏家)

1978年、チューリッヒ・トーンハレオーケストラに首席奏者として入団、1990年、同オーケストラを退団以降、独奏、室内楽奏者として幅広く活躍する。近年は後進の指導の傍らコントラバスのための編曲・教則本の編纂も行っている。2008年、谷川俊太郎氏とのヨーロッパツアー、2009年、外務省メコン・日本交流年事業として弦楽合奏団「アンサンブル・レゾナンス」ヴェトナム・ツアーを監修。ジュネーブ国際音楽コンクールコントラバス部門審査員。

In 1978 Fumio joined the Tonhalle Orchester Zurich as the principal contrabass player. After he completed his tenure in the same orchestra in 1990, he continued his activity as a soloist and chamber musician. In recent years, he has also compiled arrangements and instructional books to nurture next generations of contrabassist. Performed in European tour with Mr. Shuntaro Tanigawa in 2008. Supervised the "Ensemble Resonance" String Ensemble on Vietnam tour as a project of Mekong-Japan Exchange Year on behalf of Ministry of Foreign Affairs in 2009. Jury of the Geneva International Music Competition Contrabass Division.



Hiro Fujikake

藤掛 廣幸 (日本 作曲家・シンセサイザー演奏家)

世界的に活躍する日本を代表する作曲家の一人であり、指揮者、シンセサイザー奏者、プロデューサー。四管編成の大編成オーケストラ作品「縄文譜」が世界三大コンクールの一つである「国際エリザベート王妃音楽コンクール」に於いて日本人として史上初めて第一位グランプリを受賞、ベルギー国立交響楽団による初演は熱狂的な大成功をおさめた。イ・ムジチ合奏団とオーボエの世界的名手ハインツ・ホリガによるアルバム「日本の四季」のアレンジを担当、オランダのフィリップスより世界発売。フルートの世界トッププレイヤー、サー・ジェームス・ゴールウェイとの共演アルバム「The Enchanted Forest」では作曲、編曲、シンセサイザー演奏(Solo.Orchestra)を全て一人で担当、アメリカより世界発売。全米ビルボード「クラシカル・クロスオーバー部門」で5ヶ月間ベスト10入り、売り上げ枚数は100万枚以上となった。交響曲、オペラ、吹奏楽、マンドリン合奏曲から「NHK特集」「中学生日記」「ふるさと紀行」等のテレビやラジオの音楽まで多数を作曲。公益財団法人日本音楽財団・事業運営委員や一般社団法人日本マンドリン連盟・副会長を務め、2017年に岐阜県芸術文化顕彰を受賞するなど多数の受賞歴も持つ。

Hiro Fujikake is one of the leading composers in Japan who is active worldwide. A conductor, synthesizer player, and producer, he was the first in history as a Japanese to win the No. 1 Grand Prix in "International Queen Elisabeth Music Competition", one of the world's three major music competitions, with his composition for symphonic orchestra "The Rope Crest (Jomonfu)". The work, premiered by the National Orchestra of Belgium, received enthusiastic response and was a great success. He is responsible for arranging the album "The Four Seasons in Japan" by I Musici collaborating with the world-renowned oboist Heinz-Holliger, which was published worldwide from the Netherlands. Hiro also collaborated in the album "The Enchanted Forest" with world's top flutist, Sir James Galway, in which Hiro was responsible for all composition, arrangement and synthesizer performance (Solo.Orchestra). The album was published worldwide from United States, sitting in Top 10 Billboard "Classical · Crossover Category" for 5 months and selling over 1 million copies. He composed for various media, ranging from symphonies, operas, brass bands, mandolin orchestras to numerous TV and radio programs such as "NHK Special", "Chuugakusei Nikki" and "Furusato Kikou". He plays an active role in the Nippon Music Foundation as a member of Steering Committee and in the Japan Mandolin Federation as the Vice Chairman. Received a number of awards including the Gifu Prefectural Art & Culture Award in 2017.



Caterina Lichtenberg

カテリーナ・リヒテンベルク (ドイツ)

世界で最も活躍するクラシック・バロックマンドリン演奏家の一人。2007年よりドイツのケルン音楽大学にて教授を務める。ソリストとして、ナージャ・サレルノ・ソネンバーグ率いるニュー・センチュリー室内管弦楽団や、ディエゴ・ファソリス 指揮のフランクフルト・ブランデンブルグ州立管弦楽団、ドレスデン交響楽団など、数多くのオーケストラとの共演を果たしている。また国内外で音楽コンクールの審査員やマスタークラスの講師を務めるほか、音楽フェスティバルへ招待されるなど活躍の場は幅広い。現在までに、マイク・マーシャルとの共作を含めた10枚以上のCDをリリース。マンドリンの教則本やレッスンDVD (Homespun) を発売するなど精力的な活動を行っている。

Caterina Lichtenberg is one of most important classical and baroque mandolin specialists in the world today. Since 2007 she has held the professor position for classical mandolin at the Music Conservatory in Cologne, Germany - the only position of its kind in the world today. As a soloist she has performed with a lot of orchestras such as the New Century Orchestra under Nadja Salerno-Sonnenberg, the Brandenburgisches Staatsorchester Frankfurt under Diego Fasolis, the Dresden Symphony Orchestra, and so on. To date she has released 10 CDs under her own leadership and 2 CDs on Adventure Music label together with Mike Marshall. She is regularly invited as a juror to national and international music competitions and is a sought-after artist and lecturer at festivals and master classes. She has also published her own instructional books and filmed two DVDs on the Homespun music education company.



**Katsia Prakopchyk
Jan Skryhan**

カーチャ・プラコプチュク & ヤン・スクリーハン (ベラルーシ)

カーチャ・プラコプチュクは1979年にベラルーシのバブリスクにて生まれた。ミンスクのベラルーシ国立音楽院で初めてドムラ/マンドリンを学んだ後、彼女はケルン音楽大学に入学。ここでは、彼女の音楽に決定的な影響を与えたMarga Wilden-Hüsgen教授と出逢い、マンドリン及びバロックマンドリンの音楽課程を終えた。その後、Caterina Lichtenberg教授のもとで彼女はディプロマを取得した。現在はKalidos Academy of Music (スイス)とAnton Rubinstein International Music Academy (ドイツ)の講師を務めている。表情豊かな演奏と並外れた素晴らしいテクニックを持ち、数多くの賞を受賞している。

ヤン・スクリーハン は1979年にベラルーシのミンスクにて生まれた。M.Schylaのもとで音楽学を始め、Music College MinskにてV.Belyshevと引き続き演奏を学んだ。その後、ベラルーシ国立音楽院ではValery Zhyvelewski教授のもと、ケルン音楽院では演奏技術をDieter Kreidler教授に学び、Roberto Aussel教授のマスタークラスを受講した。多数の国際ギターコンクールにも挑戦し、受賞している。

2001年、二人は「Duo La Corda」を結成した。常に挑戦的なプログラムで、エレガント・表現豊かな音及びプロフェッショナルな見せ方で好評を得ている。「Duo La Corda」はポーランドの国際室内楽コンクール「Ghitaralia」で大賞を受賞した。

Katsia Prakopchyk was born in 1979 in Babruysk, Belarus. After her first domra/mandolin studies at the Belarussian Music Academy in Minsk, she came to the University of Music Cologne. There, a decisive influence on her musical development came from Prof. Marga Wilden-Hüsgen with whom she finished her artistic instrumental education with distinction for the instruments mandolin and baroque mandolin. Under Prof. Caterina Lichtenberg she passed her concert examination. Now, Katsia Prakopchyk is a lecturer in the Kalidos Academy of Music (Switzerland) and Anton Rubinstein International Music Academy (Germany). Because of her expressive playing and her extraordinary technical brilliance, Katsia Prakopchyk won numerous prizes and awards.

Jan Skryhan was born in Minsk, Belarus in 1979. He began his musical studies with M.Schyla, then continued with V.Belyshev at the Music College Minsk. After that he studied under Prof. Valery Zhyvelewski at the Belarussian Academy of Music and at the Highschool of Music Cologne with Prof. Dieter Kreidler (Performing Art) and Prof. Roberto Aussel (Master). Jan Skryhan has won several prizes at the international guitar competitions.

In 2001 Katsia Prakopchyk and Jan Skryhan formed "Duo La Corda", a rare combination of instrument. Performing challenging programs, together they offer a special feature: A new elegant and expressive sound, coupled with virtuosity and professional presentation. "Duo La Corda" won the grand prize at the International Chamber Music Competition "Ghitaralia" in Poland.



Ricardo Sandoval

リカルド・サンドヴァル (ベネズエラ マンドリン演奏家・作曲家)

ベネズエラ出身のマンドリニスト。クラシック演奏家と民俗音楽演奏家としての活動を行う。祖国の伝統音楽であり、ベネズエラ音楽の中心となる楽器であるマンドリンとバンドーラを学び、カラカスの音楽大学において、Ivan AdlarとAngel Pineroのもとでクラシックマンドリンの高等教育を受け、ドイツのケルン音楽大学でGertrud WyhofenとMarga Wilden-Hüsgenに師事。これまで、ヴァラツェ(1988年)やシュワインフルト(1999年)での国際コンクールで受賞している。2000年の神戸音楽祭をはじめ各国の音楽祭に参加し、2005年には大阪国際マンドリンフェスティバルに招待されて審査員を務める。2006年、2010年、2011年にはベネズエラの全国マンドリン会議、2009年コロンビアでの第1回国際プレクトラム音楽セミナーに特別ゲストとして参加。数々の著名な演奏家との共演、収録、日本やヨーロッパでの公演など、幅広い活動を精力的に行っている。

A classical-trained musician, Ricardo Sandoval was nurtured from a young age with the traditional music of Venezuela, through encounters with musicians from different backgrounds, thus learning the rhythms, songs and popular melodies of his country. After graduating from the Instituto Universitario de Estudios Musicales (IUDEM) in Caracas, he followed advanced studies at the Musikhochschule in Cologne with Marga Wilden-Hüsgen and Gertrud Weyhoffen, culminating his studies with the highest qualifications. He has received awards in international competitions in Varazze (Italy, 1998) and Schweinfurt (Germany, 1999) and has regularly participated in festivals in Europe, Latin America and Japan. In 2005 Ricardo was invited to act as jury in the International Mandolin Competition in Osaka. He has also been a special guest at National Meeting Mandolins (Venezuela, 2006, 2010 & 2011) and 1st International Music Seminar Plectrum Bogota (Colombia, 2009). This year he was special dozent in 2nd Rencontre Nationale des Orchestres a Plectre in Remiremont (France) and jury at International Joropo Competition in Villavicencio (Colombia).

コンサートIII「アジア3国のマンドリンオーケストラ」



Taiwan Mandolin Ensemble

臺灣曼陀林樂團 (台湾)

台湾マンドリン楽団は2007年8月、柳琴(小型の琵琶。東洋のマンドリンとも呼ばれる)とマンドリンの演奏家である陳子涵が設立したマンドリン団体。2017年5月に台北マンドリン楽団から現在の名称に改名した。台湾でマンドリン音楽を広めることを任務と考え、西洋の楽器であるマンドリンとマンドリン音楽の普及に務めている。台湾でマンドリン音楽の普及は始まったばかりで、演奏水準の向上と音楽性の充実を図るため、海外のマンドリン演奏家を招いての国際交流コンサートを積極的に開催し、好評を得ている。

現在、曾煒昕が指揮を務め、毎年コンサートを定期開催しているほか、依頼演奏も多く、テレビやラジオのインタビューを受けるなど、台湾内外で注目を集めている。今後も台湾でマンドリン愛好家を増やし、マンドリン音楽の発展に寄与していきたいと願っている。

Taiwan Mandolin Ensemble was founded in August 2007 with ZiHan Chen as the Liuqin (it's a smaller pipa, also called the Orient Mandolin) and mandolin player, and its name changed from Taipei Mandolin Ensemble in May 2017. Taiwan Mandolin Ensemble is driving for popularization of mandolin and mandolin music in Taiwan. Since the spread of mandolin music has just begun in Taiwan, for development of performance level and enhancing musicality, international exchange concerts with overseas mandolin players have been hold proactively, garner immense praise. Weihsin Tseng serves as a conductor now, hold regular concert every year, also be invited to perform for several events and gets interviewed for TV and radio show, has drawn much attention. Taiwan Mandolin Ensemble is trying to increase mandolin lovers in Taiwan and contributes to the development of mandolin music.

Conductor

曾煒昕 Weihsin, Tseng

Concert Master

陳子涵 Chen, Zihan

Mandolin 1

廣田洋一 Hirota, Yoichi

蔡佳諭 Tsai, Chiayu

蔡汶庭 Tsai, Wenting

廖翠玲 Liao, Tsueyling

陳碧筠 Chan, Pikkwan

Mandolin 2

青木樹理 Aoki, Juri

羅欣怡 Loh, Sinyee

林芝儀 Lin, Chihyi

陳宥惠 Chen, Youhui

黃瀚鋒 Huang, Hannfeng

Mandola

楊子榕 Yang, Tzurong

鄧靜嫻 Teng, Chinghsien

Mandolncello

陳尉娟 Chen, Weichuan

Contrabass

張愷庭 Chang, Kaiting

Piano

郭宗翰 Kuo, Tsunghan



Seoul Mandolin Chamber (韓国)

「大衆には、楽しさと感動を、専門家にとっては意味のある公演」、ソウルマンドリンチェンバーが追求する公演のモットーです。韓国マンドリン歴史の母胎である崇実大学校マンドリンクラブの卒業生と社会人のアマチュアが混合されて構成された本合奏団は、クラシック音楽を主なレパートリーで演奏しています。2011年創立以来、5回の定期演奏会と地域招待演奏を進めてきています。指揮者である趙泰洙は韓国とブルガリアのソフィア国立音楽院でバイオリンを専攻し管弦楽団とマンドリンオーケストラの指揮者であり、また、バイオリン奏者として活動しています。

Under the motto of 'Enjoyable to the General, Impressive to the Professional', Seoul Mandolin Chamber started with the old boys/girls of Soongsil Univ. Mandolin Club, the matrix of Korean mandolin, and was joined by some more elderly amateur players. We try to encompass a diverse range of musical genres mainly including classical music.

Since the start in 2011, we have held five annual concerts and performed various concerts for community. Taesoo Cho as a conductor of several teams and a violin player himself sparks a new wave in Korean mandolin society.

Conductor

趙泰洙 Cho, taesoo

Mandolin 1

洪蓄美 Hong, Jangmi (楽長)

郭明燮 Kwak, Myungsub

徐聖美 Seo, Sungmee

鄭在慶 Jung, Jaekyung

洪愛卿 Hong, Aekyung

Mandolin 2

崔載恩 Choe, Jaemun

金淑賢 Kim, Sookhyun

裴採玉 Bae, Chaeok

尹鄭子 Youn, Jeongja

山田 奨 Yamada, Susumu

Mandola

具英會 Koo, Younghoe (団長)

金鈴河 Kim, Yeongha

宋泰仁 Song, Taein

鄭震杰 Jeong, Jingeol

Mandolncello

姜潤錫 Kang, Yoonseok

Guitar

崔可烈 Choi, Gayeol

吳明子 Oh, Myungja

Contrabass

南有眞 Nam, Yoojin

コンサートIII「アジア3国のマンドリンオーケストラ」



Taiwan Chi-Mei Mandolin Orchestra

臺灣奇美曼陀林樂團 (台湾)

奇美 (Chi-Mei: チーメイ) マンドリンオーケストラは、台湾奇美グループ創設者である許文龍氏により1995年に創設されました。この楽団は、マンドリン合奏に興味を持っているあらゆる職業の人達が集まっている楽団です。楽団設立以来、奇美文化基金会の顧問である許富吉氏が団長をしています (編曲も兼任)。今回、大阪で行われる第11回ARTE国際マンドリンフェスティバルに大会主催者のARTEからご招待を頂き、心から感謝します。今回参加する私たち『台湾チーメイマンドリンオーケストラ』は、この国際フェスティバルのために、奇美マンドリンオーケストラを中心に新たに結成されました。メンバー35名の内、4分の3が奇美マンドリンオーケストラのメンバーですが、台南にいくつかあるマンドリンオーケストラのメンバーも加わっています。なかでも、

次の世代のメンバーとして、台南市新化區那拔小学校マンドリンオーケストラの小学生5人も参加しています。このことは私たちのオーケストラの大きな特徴ではないかと思えます。この度は、皆様と友好を深めるとともに、お互いの演奏を鑑賞し、励ましあうことで、マンドリンの未来に更なる貢献ができるものと期待しております。

Conductor: 董怡君 Tung, I-Chun / ウィーン国立音楽大学 芸術修士、国立台南大学音楽系理論作曲講師、国立台南第一中学 (高等学校) 専任音楽教師、台湾チーメイマンドリンオーケストラ常任指揮。

Founded by Mr. Wen-Long Shi, the head of Taiwan Chi-Mei Corporation (since 1995), Chi-Mei Mandolin Orchestra comprises a variety of members whose specialties cover several professions. The orchestra has, ever since its establishment, been financed by Chi-Mei Culture Foundation. Our director, Mr. Fu-Chi Shu, is also one among the music arrangers. We are honored to be invited to perform, here, in the 11th ARTE International Mandolin Festival in Osaka. In total, we have 35 players for this grand occasion. Three quarters of them are from Taiwan Chi-Mei Mandolin Orchestra. The rest includes five players from Na-Ba Elementary School Mandolin Orchestra of Tainan City. As we had offered vacancies to the interested groups all citywide, their presence, excellency included, is a prominent feature of its outcome. Being present here is a great pleasure. In addition to cementing the friendship of all parties, we hope, through mutual emulation and acclamation, to promote bilateral mandolin performances and cooperation in the future.

Conductor

董怡君 Tung, I-Chun

Mandolin 1

蔡福建 Tsai, Fu-Chine
朱昭蓉 Chu, Chao-Jung
陳麗鄉 Chen, Li-Shiang
莊憶雯 Chuang, Yi-Wen
李綉鳳 Lee, Hsiu-Feng
陳玄貞 Chen, Hsuan-Chen
謝桂琴 Hsieh, kuei-Chin
葉維茵 Yeh, Wei-Yin
鄭國基 Cheng, Kuo-Chi
中村又善 Nakamura, Matayoshi

Mandolin 2

黃素卿 Huang, Su-Ching
鄭惠美 Cheng, Hwei-Mei
陳惠真 Chen, Huey-Jen
曾資閔 Tseng, Tzu-Min
丁麗蘭 Ting, Li-Lan
蔡福隆 Tsai, Fu-Long
黃于依 Huang, Yu-Yi
王宥方 Wang, Yu-Fang

Mandola

許富吉 Hsu, Fu-Chi
史清溪 Shih, Ching-Hsi
張菁珺 Chang, Ching-Yu
盧美齡 Lu, Mei-Ling
王昱臻 Wang, Yu-Chen
黃謙宜 Huang, Chien-Yi
林蓓兒 Lin, Pei-Erh

Mandolncello

周克昌 Chou, Kuo-Chong
郭桂芬 Kuo, Kuei-Fen
蔡孟芬 Tsai, Wendy

Guitar

葉世宗 Yeh, Shih-Tsung
許益彬 Hsu, I-Pin
許美華 Hsu, Mei-Hua
田子紘 Tien, Tzu-Yun

Contrabass

馮長萱 Wo, Chang-Hsuan
王佳如 Wang, Chia-Ju

Percussion

葉維茵 Yeh, Wei-Yin
馮長萱 Wo, Chang-Hsuan



Estudiantina Philodolino di Kyoto (日本)

エストウディアンティナ・フィロドリノ・ディ・キョウトは、石村隆行と有志により1994年に結成されました。「フィロドリノ・PHILODOLINO」とは、作曲家であり、わが国におけるギター・マンドリン研究の泰斗であった故中野二郎氏による新造語で、氏が青年の頃初めて組織されたマンドリンアンサンブルの名称でもありました。「マンドリンとその音楽を純粋に愛する者達によるオーケストラでありたい」という気持ちから込められた言葉です。

In 1994, "ESTUDIANTINA PHILODOLINO di KYOTO" was organized by Takayuki Ishimura and interested persons. "PHILODOLINO" is a newly coined word by Mr. Jiro Nakano who was the composer and the leading authority of a guitar mandolin study in Japan, and it was also the name of the mandolin ensemble at the first time in his early life. "PHILODOLINO" means a feeling "It wants to be the orchestra by people loving a mandolin and the music purely".

Conductor

石村隆行 Ishimura, Takayuki

Mandolin 1

山本治加 Yamamoto, Haruka
小林珠喜 Kobayashi, Tamaki
森田麻友 Morita, Mayu
萩原巴絵 Hagiwara, Tomoe

Mandolin 2

福島唯 Fukushima, Yui

辻本篤人 Tsujimoto, Atsuto

飯島利彩 Iijima, Risa
平岡佐知子 Hiraoka, Sachiko

Mandola

森本裕喜 Morimoto, Hiroki
馬場幹子 Baba, Mikiko
若松ゆり子 Wakamatsu, Yuriko
三浦香奈子 Miura, Kanako
喜多礼子 Kita, Reiko

堀内祐奈 Horiuchi, Yuna

Mandolncello

西吉亮 Nishi, Yoshiaki
清瀬英範 Kiyose, Hidenori
松岡輝 Matsuoka, Akira

Mandolone

近藤卓矢 Kondo, Takuya

Contrabass

植松周平 Uematsu, Syuhei

伊東良美 Ito, Yoshimi

Guitar

田中貴博 Tanaka, Takahiro
北川大介 Kitagawa, Daisuke
小濱舞 Kohama, Mai
高野真司 Takano, Shinji
田中篤 Tanaka, Atsushi
高元海樹 Takamoto, Minoki

コンサートIV「ストラディヴァリウスとマンドリンの饗宴」



Yuki Manuela Janke

ヴァイオリン独奏 有希・マヌエラ・ヤンケ

1986年ミュンヘンにてドイツ人の父と日本人の母の音楽一家に生まれる。5歳でドイツ青少年音楽コンクールの8歳以下最年少グループで優勝、9歳でソリストとしてオーケストラと共演し鮮烈なデビューを飾った。2004年パガニーニ国際コンクール最高位と三つの副賞全てを受賞、2007年チャイコフスキー国際コンクール第3位、同年のサラサーテ国際ヴァイオリン・コンクール(スペイン)では優勝を果たした。これまでに、ベルリン放送交響楽団、ケルンWDR交響楽団、ナショナル・フィルハーモニック管弦楽団(英国)、NHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団等とソリストとして共演している。2012年から2年間、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団の460年に及ぶ史上初の女性コンサートマスターを務め、2015年8月にはベルリン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに就任した。

Yuki Manuela Janke was born in Munich in 1986 from a German father and a Japanese mother. Raised in a musician's family, at the age of 5 she won the youngest group at the German Youth Music Competition, under 8 years old category and at the age of 9 she debuted as an orchestra soloist, decorating her career with a brilliant start. She won the highest ranking at the 2004 Paganini International Competition, grabbing all three sub-prizes. In 2007 she won the third prize at the Tchaikovsky International Competition and the first prize at the Sarasate International Violin Competition in Spain. She has worked as a soloist with the Berlin Radio Symphony Orchestra, the WDR Symphony Orchestra Cologne, the National Philharmonic Orchestra (UK), the NHK Symphony Orchestra and the Japan Philharmonic Orchestra, along with numerous other orchestras. For two years from 2012, she served as the first concertmistress in the 460 years of history of the Dresden State Opera Orchestra, and in August 2015 she became the concertmistress of the Berlin State Opera Orchestra.



Stradivarius 1736 Violin "Muntz"

使用楽器: 日本音楽財団所有 ストラディヴァリウス 1736年製 ヴァイオリン「ムンツ」

楽器の内側に貼られたラベルにはストラディヴァリ本人の手書きで「d'anni 92 (92歳)」と書かれている珍しい楽器である。透明な黄褐色のニスに楽器のほぼ全体に綺麗に残っており、楽器の保存状態も音色も格段に優れている。1874年以降、英国の収集家ムンツが所有していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737年に死去したストラディヴァリが、最晩年に製作した楽器の一つとして知られている。

Stradivarius 1736 Violin "Muntz" owned by Nippon Music Foundation

The label attached to this instrument bears an Italian inscription, "d'anni 92 (92 years old)", handwritten by Stradivari himself. It has a first class reputation for its excellent condition and tonal quality. This violin takes its name from a famous collector and amateur violinist, H.M.Muntz of Birmingham, England, who owned it in the late 1800s. This is one of the last instruments made by Stradivari, who passed away in 1737.

指揮 藤掛 廣幸 (写真・プロフィールは審査員のページをご覧ください)

オーケストラ演奏

ARTE MANDOLINISTICA & ARTE TOKYO & 関西在住の中高校生

Mandolin 1	Mandolin 2	Mandola	Mandoloncello	Mandolone	Guitar
井上 泰信	牛尾絵梨香○	鶴田 茜○	末廣 健児○	今井 友海○	富山 敬○
影山ひかり○	松田 正幸○	土方 愛子○	小林 薫○	赤羽 朝明○	友野 卓哉○
青木ゆめこ○	今井 悠介○	天羽 優花○	上尾 謙太○		福田 葵○
岩木 麻衣○	竹内 千晶○	門脇雄太郎○	浦 智帆○	Contrabass	遠藤 拓海○
加藤 文章○	中山 翔太○	國府田志保○	恩智 翔子○	東浦 奏子○	岡田 彩那○
森寺 晶子○	三反園悠祐	田邊なつ美○	寺脇 未倅○	藤野はるか○	北原可南子○
八木 京子○	清水 咲希○	青柳 貴保○	二橋 真穂○	秋山 紀子○	中村理紗子○
吉住 豪起○	波多野華恵○	小澤 佑季○	坂本 真○	古川 武典○	山田 梨沙○
加藤 安曇○	平野 貴之○	児玉 夏佳○	眞保モモ子○	山口 大介○	鳥井 隆也
佐々木明日香○	福澤 真代○	小宮 佑登○	野沢 朋加○	福原 祐樹○	白井 英
山崎 響○	福田 康稀○	筒井知香華○	林 明日香○	野田 梨佳○	久郷 歌絵
榎本 孝太	加納 洋子	林 宣光○	舟津 健治○	黒川 喜寛	生田 透子
松本 桃奈	大島 未夢	堀川 奈月○	松井 温美○	吉西 晴香	植田 裕大
安田 凌	江口 芽生	望月 真湖○	松浦 佑真○	大道日向子	浦野 雅洋
萩原ひかる	浜辺 幹太	山内 大希○	伊藤 夕輝	浅田 日向	武田 薫水
竹家 彩花	四方 瑚子	山門 夏海	三村紗也香		向井 夏未
西 優佳		井上 愛恵	東 和佳奈	Flute	西尾佳保里
諏訪部好央△		富田ひなの	古村 基	長澤菜由恵○	原 心咲
		飯島 麻衣	川上 滉己	多田 千晶○	荒木 一太
		坂上 純香	森 康紘	三上 真優△	
		池端 紗季△	神田美央里		Percussion (賛助)
		今西あみか△	中農 光太		高田 汐莉
		中川 大知△	白石 和輝△		樽井 美咲
					四元美也香

○はARTESSIMOにも参加、△はARTESSIMOのみ参加

ARTE INFORMATION

公演情報

ARTE TOKYO 群馬公演

2018年1月21日(日) 14:00開演予定 群馬:前橋市民文化会館小ホール

プログラム(予定)

末廣健児/風のプレリュード ドヴェッシー(遠藤秀安)/小組曲 ドヴォルザーク(末廣健児)/序曲「謝肉祭」
福田洋介/小栗のまなざし 桑原康雄/籟動(マンドリン:榊川千明) 末廣健児/流星群
樽屋雅徳(遠藤秀安)/マードックからの最後の手紙
ゲスト:榊川千明(マンドリン)

ARTE MANDOLINISTICA 京都公演2018

2018年3月10日(土) 京都:京都コンサートホール大ホール

プログラム(予定)

チャイコフスキー/弦楽セレナーデハ長調 二橋潤一/マンドリンオーケストラの為の妖精組曲
ヴェストホフ/3台のギターとマンドリンオーケストラの為のサンバ協奏曲
ゲスト:猪居謙、猪居亜美、益田展行(ギター)

第5回全日本マンドリン合奏コンクール

2018年3月31日(土) 東京:第一生命ホール

【課題曲】 March "JOY FLIGHTS" (遠藤秀安作曲・委嘱作品)

【予備審査】課題曲の録音審査 2018年1月10日(水)の締切予定

物販情報 CD 「ARTE THE BEST 2016」 4枚組 5,000円(税込)



ARTE TOKYO 静岡公演・第6回定期公演、ARTE MANDOLINISTICA 京都公演2016・名古屋公演を収録しております。

収録曲:丸本大悟/組曲「杜の鼓動」、デ・ミケーリ/組曲「田園にて」、
チャイコフスキー/交響曲第6番短調「悲愴」作品74、
帰山栄治/Ouverture Historique No.2 他

「末廣健児作品集」 2枚組 3,000円(税込)



末廣健児氏が過去リリースした全作品、ARTE TOKYO 第2回定期公演のアンコールで演奏された本人によるピアノソロを収録しております。

収録曲:Beyond the Skies、組曲「瑞木の詩」、明日への序章、風のシンフォニア 他



特定非営利活動法人 ARTE MANDOLINISTICA (アルテ マンドリニスティカ)

上記イベント等の詳細は、当団HPをご覧ください <http://www.arte-mandolin.com/>

お問い合わせ先 E-mail:office@arte-mandolin.com

音楽監督にマンドリニスト井上泰信を置き2003年1月に結成。2005年9月、特定非営利活動法人(NPO)の認証を受け、国内初の法人格を有するマンドリン団体となる。同年10月、国内唯一の国際コンクールとなる「大阪国際マンドリンフェスティバル&コンクール」をザ・フェニックスホールにて3日間に亘って開催。その後も同地にて継続開催し、マンドリン独奏部門に加えて作曲部門やマンドラ・マンドロンチェロ・マンドリュート独奏部門を創設するなど、世界的にも類を見ないコンクールとしての地位を確立する。2015年10月には「ARTE国際マンドリンフェスティバル&コンクール」と名称を変更、東京に於いて第10回目の開催に至った。合奏団としての演奏活動以外にもフェスティバル・コンクールの開催による国内外の交流や、CD・楽譜の出版、一般愛好家や未来を担う子どもたちへの啓蒙など、幅広い活動を通してマンドリン音楽の普及・発展を目指すマンドリンオーケストラである。